



警察は裏金も犯人もつくる!?

シンポ「警察裏金事件とメディア」

北海道警察本部の裏金を北海道新聞の道警キャップとして調査報道し、日本新聞協会賞などを受賞した佐藤一(はじめ)記者による基調講演を受け、高知県警捜査費問題を報じた高知新聞編集局次長の中平雅彦氏、裏金を内部告発した元道警釧路方面本部長・原田宏二氏と、1973年から偽領収書作成を拒否している愛媛県警巡査部長の仙波敏郎氏を交えての討論会を開きます。



日時 12月1日(金)午後6時30分～9時
 会場 同志社大学今出川校地新町校舎・臨光館201番教室(R201)
 京都市営地下鉄烏丸線今出川駅下車徒歩約5分
 講師 佐藤一・北海道新聞記者が基調講演
 佐藤記者の講演後、中平・原田・仙波各氏を交えて討論
 共催 同志社大学社会学会・同志社大学社会学部メディア学科 / 入場無料
 電話 075-251-3441(社会学部研究室事務室)

※なお、シンポ前日の11月30日に、原田さん・仙波さんによる「新聞学原論」ゲスト講義が行われます。
 場所:臨光館208 時間:10時45分から12時30分



佐藤一(はじめ)さん略歴

1963年福島県生まれ。立命館大学文学部(日本史専攻)卒業後、官庁系シンクタンク、経済誌記者、フリーライターを経て、1993年北海道新聞入社。内勤、釧路支社勤務後、本社社会部(現報道本部)に異動。道庁、札幌市内署回りを経て、道警本部キャップ。その後道教委担当を経て道警担当。このポジションの際、道警裏金問題についてキャンペーン報道行い、現場責任者だった取材班(デスクは高田昌幸・現ロンドン特派員)として日本新聞協会賞、菊池寛賞などを受賞。2005年7月から東京支社社会部で厚生労働省を担当している。43歳。

一連の警察裏金問題では、全国紙など大手メディアが「権力チェック」を放棄する中、北海道新聞、高知新聞、愛媛新聞などの地方紙が健闘した。しかし、道新は社内不祥事などをめぐって警察から「揺さぶり」をかけられ、裏金報道はトーンダウン。さらに、「泳がせ捜査失敗」記事に関する道警の圧力に屈し、道新は「お詫び」記事を掲載して、裏金報道の中心になった記者を処分してしまった。さらに、当時裏金問題の対応に当たった元道警総務部長が、06年5月、道新裏金問題取材班のキャップ佐藤一氏などを名誉毀損で提訴した。

裏金作りの実態、それに抵抗する警察官の闘い、メディアの報道現場の現状などについても報告、討論していただく。

● パネリスト紹介 ※講師の佐藤一さんの略歴は表面をご覧ください

原田宏二・元道警釧路方面本部長

1937年生まれ。57年北海道警察に採用され、89年に警視正。旭川中央署長・道警本部防犯部長などを歴任。04年2月、道警の裏金問題について、元道警最高幹部として「告発」記者会見。05年、その後の裏金問題追及の経過や現場の警察官の苦悩も描いた『警察内部告発者』（講談社）を出版、全国に大きな反響を呼んだ。さらに今年8月には、続編として愛媛、長崎、高知で警察の裏金作りに抵抗する警察官たちの闘いを記録した『警察VS警察官』（講談社）を出版したばかり。この本の中で、仙波さんのことを詳しく書いている。『明るい警察を実現する全国ネットワーク』設立。警察の民主化に向けて活動中。

仙波敏郎・愛媛県警巡查部長

1949年愛媛県生まれ。愛媛県警生活安全部地域課鉄道警察隊分隊長。57歳。1973年、その年の最年少者として24歳で巡查部長の昇任試験に合格。直後に配属された三島署で初めて上司からニセ領収書を書くことを要求されたが拒否。それ以降に配属された警察署でもことごとく拒否し続けたために30年以上も巡查部長より上に昇任することができなかった。2005年1月20日、現職警察官として初めて実名で警察の裏金問題を内部告発する記者会見を行った。会見から4日後、地域課通信司令室への配置転換を内示、27日付で異動。仙波氏は愛媛県人事委員会へ配置転換の取り消しを求める申し立てを行った。同委員会は6月7日「鉄道警察隊から通信司令室への配置転換は人事権の濫用に当たり、これを取り消す」という裁決を下した。

中平雅彦・高知新聞編集局次長

1954年高知県生まれ。80年に高知新聞社入社。政治部などを経て、04年4月から3年間、社会部長。05年4月から現職。高知新聞編集局次長兼報道センター長。高知新聞が高知県警の捜査費報道を始めた03年の捜査費不正報道時の社会部長で、北海道新聞の佐藤氏らと連携し、キャンペーンを張ってきた。道警OBの原田氏とも面識がある。10月末に札幌で道新を取り巻く状況を考えるシンポがあり、参加した。道新と道警の問題ではなく、メディアと警察権力の問題ととらえている。

※ 2006年11月30日(木)午前10時45分から12時15分までの「新聞学原論Ⅱ」(浅野健一担当)のゲストに、シンポジウムパネリストの原田宏二さんと、仙波敏郎さんの二人をお招きし、お話をうかがいます。こちらにもご参加ください。

※ 場所:R208 時間:11月30日10時45分~12時30分